

2007 年度統計関連学会連合大会

第一号案内

(1) 2007 年度統計関連学会連合大会へのお誘い

2007 年度連合大会・実行委員会・委員長
大谷一博(神戸大学大学院経済学研究科)

以前に神戸大学(経済学部)で統計関連学会連合の一学会である日本統計学会による年次大会が開催されたのは、1991年の第59回大会でした。この度、16年ぶりに、2007年度統計関連学会連合大会という大きな規模の統計関連の大会が9月6日(木)から9日(日)まで神戸大学(経済・経営・国際協力研究科が中心)で開催されることになり、連合大会実行委員会委員長の役をお引き受けすることになりました。ここでは、神戸大学および神戸周辺について簡単に紹介させていただきます。

神戸大学は、六甲山の中腹にあり、神戸の夜景がとてもきれいに見えます。また、緑にも恵まれていますので、初めて来られた方は、「いい所ですね」と言ってくれます。しかし、坂と階段のきつさは超一級で、一度体験すると「住みたい」とは思わないようです。神戸は、人口150万を超える都会のはずですが、東京などの他の大都市と比べると相当田舎になります。例えば、東京で山手線に乗ると、どの駅で降りても夜遅くまで明かりが煌々と灯っていますが、神戸で夜まで明るいのは三宮駅周辺(駅は、すべて JR です。)からせいぜい元町駅位までで、一つ西隣の神戸駅前には、夜になるとかなり寂しくなります。

神戸の町と言えば、異人館や港が思い起こされますが、まず余り知られていない所をご紹介させていただきます。神戸駅の一つ西隣の兵庫駅を少し海側に下がった所に、兵庫大仏という大仏さんがいます。この大仏さんは、日本3大仏の一つであり、鎌倉の大仏さんより5メートル大きいそうです。しかし、開眼したのが明治24年(1891)で、比較的新しいこともあって、神戸の人でもご存じない方が大勢います。ただ、もとの大仏さんは、太平洋戦争の時、金属回収で供出されてしまい、現在の大仏さんは平成3年(1991)に再建されたもので、まだピカピカでとてもきれいです。

神戸から西に進むと、舞子駅があり、明石海峡大橋(パールブリッジ)を望むことができます。この明石海峡大橋には、ご存じの方も多と思いますが、舞子側の橋桁に舞子海上プロムナードがあり、アンカレイジから海側に150m程進むことができます。一部がガラス張りになっていて、足下の海面を見ることができ、スリルがあります。ただし、高所恐怖症の方は、見るのはやめた方が良くも知れません。

元町駅の手側には南京町があります。ここは、横浜の中華街の3分の1程度の面積ですが、行列のできる豚饅頭専門店をはじめ、多くの中華料理店があり、中華料理を堪能できます。また、南京町を抜けて海まで行くと、ポートタワー、メリケンパーク、ハーバーランドがあります。このメリケンパークからは、明石海峡大橋までを周遊してくれるクルーズ船が出ており、ディナーを楽しみながら大橋を見ることもできます。

当大会に多くの会員の方が参加され、研究活動とともに会員同士の親睦を深め、また神戸の良さも知って頂ければ大変うれしいと思います。(本文の作成に際し、金治努・先崎仁『神戸雑学 — まちの大発見・小発見』を参考にしました。)

(2) 2007 年度統計関連学会連合大会のプログラム企画について(第一報)

連合大会企画委員会委員長 狩野 裕 (大阪大学)

2006 年も残りわずかとなり、統計関連学会連合大会の準備が本格化してきました。2007 年度の連合大会は、応用統計学会、日本計量生物学会、日本計算機統計学会、日本行動計量学会、日本統計学会の主催と日本分類学会の協賛により、2007 年 9 月 6 日(木)から 9 月 9 日(日)までの日程で「異国情緒豊かな港町」神戸大学(経済・経営学部本館)にて開催されます。大会のソフトの部分を担う企画委員会では、市民講演会、チュートリアルセッション、企画セッション、コンペティションセッション等を組織しています。会員の皆様でご意見やご提案をお持ちの方は是非お知らせください。なお、連合大会の Web ページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/>

に関連情報が随時掲載されます。

今回は、企画セッションとチュートリアルセッションについて公募をすることにしました。企画セッションの公募は過去の大会と同様です。各学会の会員同士が互いに啓発され、相乗効果が生まれるような企画をご提案ください。応募が多数の場合には企画委員会で調整させていただくこともありますのでご了解ください。企画セッションの申込みの際には、セッションのテーマとねらい、オーガナイザーの氏名・所属・連絡先、予定講演者と演題名、必要な時間(プログラム編成上、90 分から 120 分の間に願います)を狩野宛てメールにてお知らせください。

企画セッション応募締切り

2007 年 2 月 20 日(火)

企画セッション応募先

連合大会企画委員会委員長

狩野 裕(大阪大学)

kano@sigmath.es.osaka-u.ac.jp

チュートリアルセッションは例年好評です。今回は会員の皆様の潜在的な需要を掘り起こしたいと考え公募することにしました。チュートリアルセッションとして魅力あるテーマ、希望する講師の氏名と所属等、内容の概略、そして、ご提案の理由を簡潔にまとめて、上坂(チュートリアルセッション責任担当)までメールでお知らせください。同セッションのテーマ数は限られていますので、ご提案が採用されない可能性があります。その際はご容赦願います。チュートリアルセッション公募の詳細は連合大会の Web ページを参照してください。

チュートリアルセッション応募締切り

2007 年 1 月 31 日(水)

チュートリアルセッション応募提出先

チュートリアルセッション責任担当 連合大会企画委員

上坂浩之(日本イーライリリー)

taikai_kikaku07@jfssa.jp

一般講演や参加の事前申込み、報告集原稿提出は基本的にホームページ上で行うこととします。現在、委託業者と詳細を詰めているところですが、それぞれの締切りは、一般講演申込(5月下旬)、報告集原稿提出(7月上旬)、参加事前申込(8月中旬)と考えております。確定した期日は具体的な企画とともに 2007 年 4 月ごろ第二報でお知らせいたします。

2006 年度の仙台大会は参加者が 800 名を超え国内の統計科学に関する大会では最大規模となりました。神戸大会では主催学会が3つから5つに増えます。同大会が、統計科学の最新の情報交換の場として、さらに有意義になることを期待しています。

(3) 2007 年度統計関連学会連合大会におけるチュートリアルセミナーのテーマの募集について

連合大会企画委員長: 狩野裕

連合大会企画委員、チュートリアルセミナー責任担当: 上坂浩之

2007 年の統計関連学会連合大会は 9 月 6 日～9 日に、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会の主催で神戸大学にて開催されます。今回も例年にならい、大会にあわせてチュートリアルセミナーを開講する予定です。セミナーの目的には、1) 新しく発展しつつある話題に関する現在までの成果を紹介すること、2) 特定の領域で発展した話題を多くの方々に紹介すること、3) すでに確立している話題であっても、これからその領域を学びたい方を対象とした講義、4) 日常業務の中で学ぶ機会のない方を対象とした入門講座、などがあるでしょう。2006 年までは、比較的话题を集めそうな1～2テーマを取り上げてまいりました。しかし 2007 年度は、新しい試みとして、関連学会会員の方々の声を反映したテーマを取り上

げることができるように、チュートリアルセミナーのテーマを連合大会の主催学会の会員より募集することとなりました。主催学会が 5 学会となりましたので、今まで以上に様々な領域のテーマを扱うことができるでしょう。聴講したいセミナーのテーマがありましたら、テーマ、希望する講師と所属、内容の概略、提案理由を添えて、チュートリアルセミナー責任担当の上坂浩之宛メールにてご応募ください。応募の期限は 2007 年 1 月 31 日とさせていただきます。なお、テーマの選定は企画委員会に御一任いただきます。

応募締切:2007 年 1 月 31 日(水)

応募内容:応募者氏名、テーマ、希望する講師と所属、内容の概略、提案理由

応募先:上坂浩之(日本イーライリリー) taikai_kikaku07@jfssa.jp